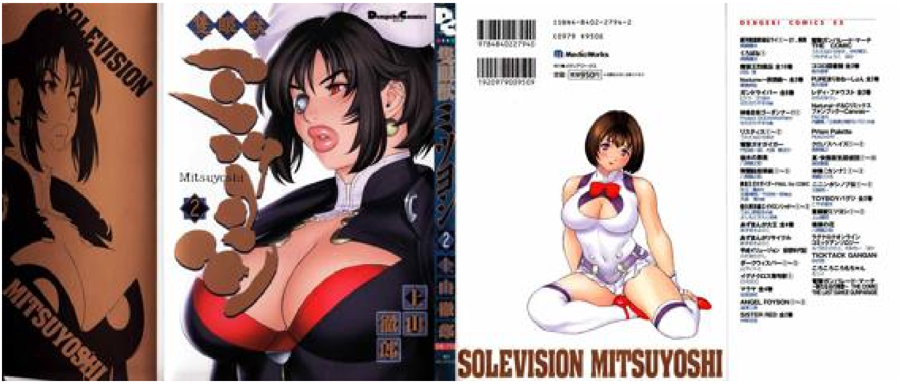
9784840227940
1920979009509
ISBN4-8402-2794-2
C0979 ¥950E
MediaWorks
発行●メディアワークス
定価：本体950円 ※消費税が別に加算されます

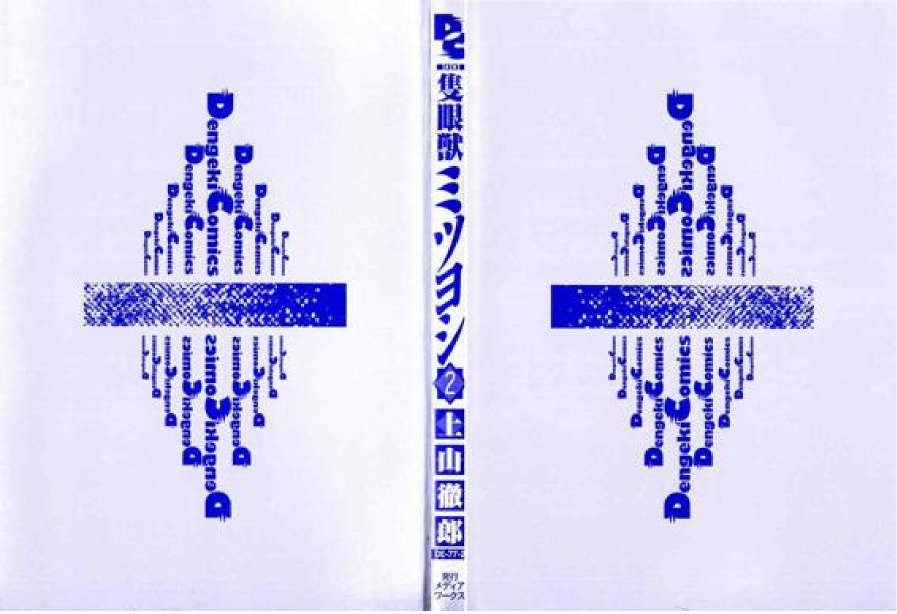
SOLEVISION MITSUYOSHI

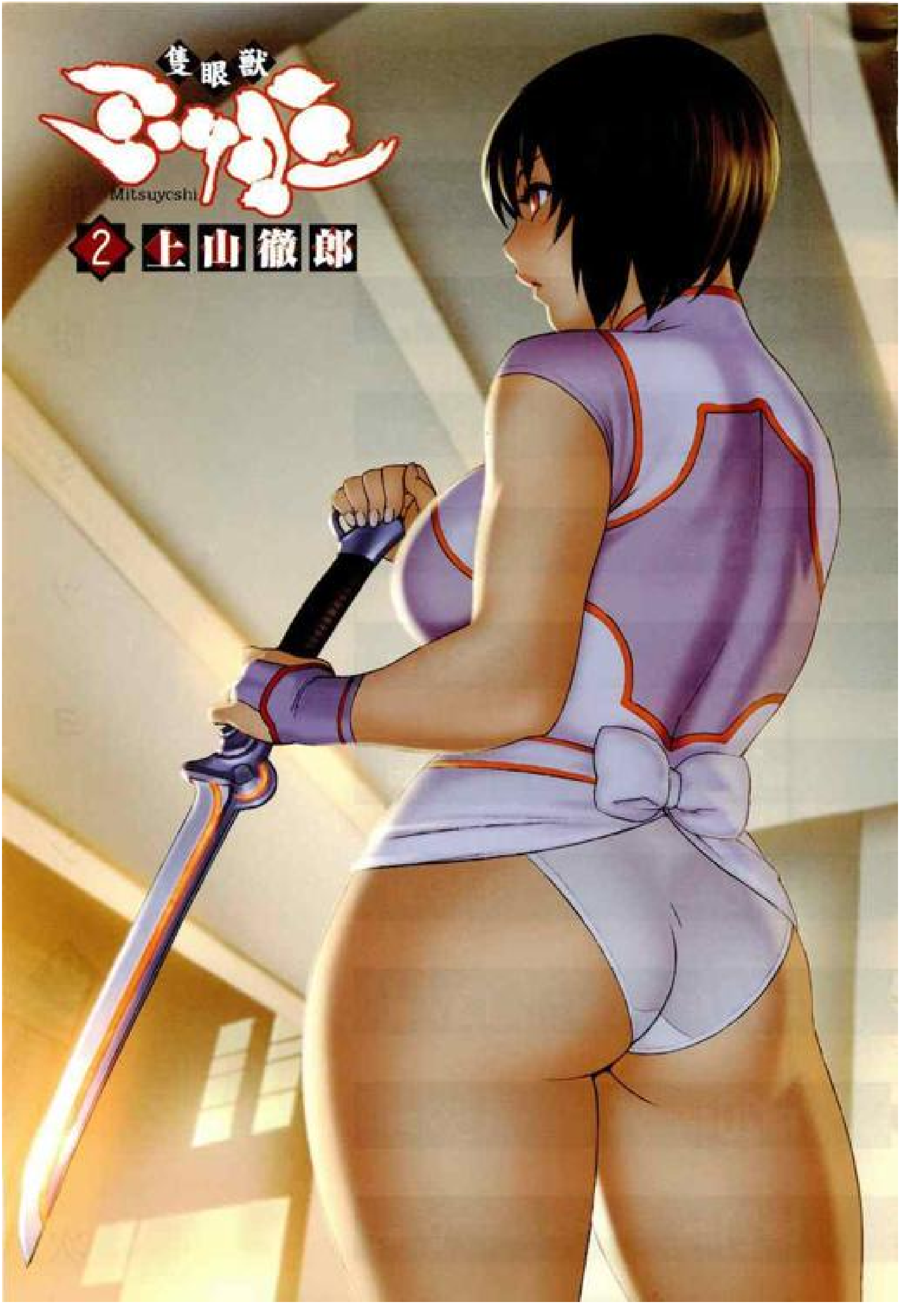
DENGEKI COMICS EX

銀河戦国群雄伝ライ①～17、外伝
真鍋譲治
くろはね①
真鍋譲治
魔獣王烈風伝 全10巻
Nocturne～夜想曲～ 全3巻
ガンドライバー 全8巻
ヒトツ ゴウ原作
せたのりやす作画
神魂合体ゴーダンナー!!①
Project GODANNAR原作
せたのりやす作画
リスティス①～③
うたたねひろゆき
電撃ガオガイガー
竹田裕一郎、大張正己ほか
仙木の果実
八房龍之助
宵闇眩燈草紙①～⑤
八房龍之助
勇者王ガオガイガーFINAL the COMIC
エイドロンシャドー①～③
あずまんが大王 全4巻
あずまきよひこ
あずまんがリサイクル
あずまきよひこ
平成イリュージョン 仮想年代記
ダークウィスパー①～③
山下いくと
イグナクロス零号駅①
CHOCO
マラヤ 全4巻
ANGEL FOYSON①～③
SISTER RED 全2巻

電撃ガンパレード・マーチ THE COMIC
うたたねひろゆき、中村哲文、つちやきょうこ ほか
ココロ図書館 全3巻
PUREまりおねーしょん 全2巻
レディ・ファウスト 全2巻
Natural～F&Cリミックス ファンブック～Canvas～
F&C原作
Prism Palette
PEACH-PIT
クロノスヘイズ①～②
真・快傑蒸気探偵団①～⑩
神無［カンナ］①～③
ニニンがシノブ伝①～②
古賀亮一
TOYBOY/バグジ 全2巻
隻眼獣ミツヨシ①～③
上山徹郎
八房龍之助
ラグナロクオンライン コミックアンソロジー
TICKTACK GANGAN
ころころころもちゃん
電撃ガンパレード・マーチ ～新たなる行軍歌～ THE COMIC
THE LAST DANCE GUNPARADE

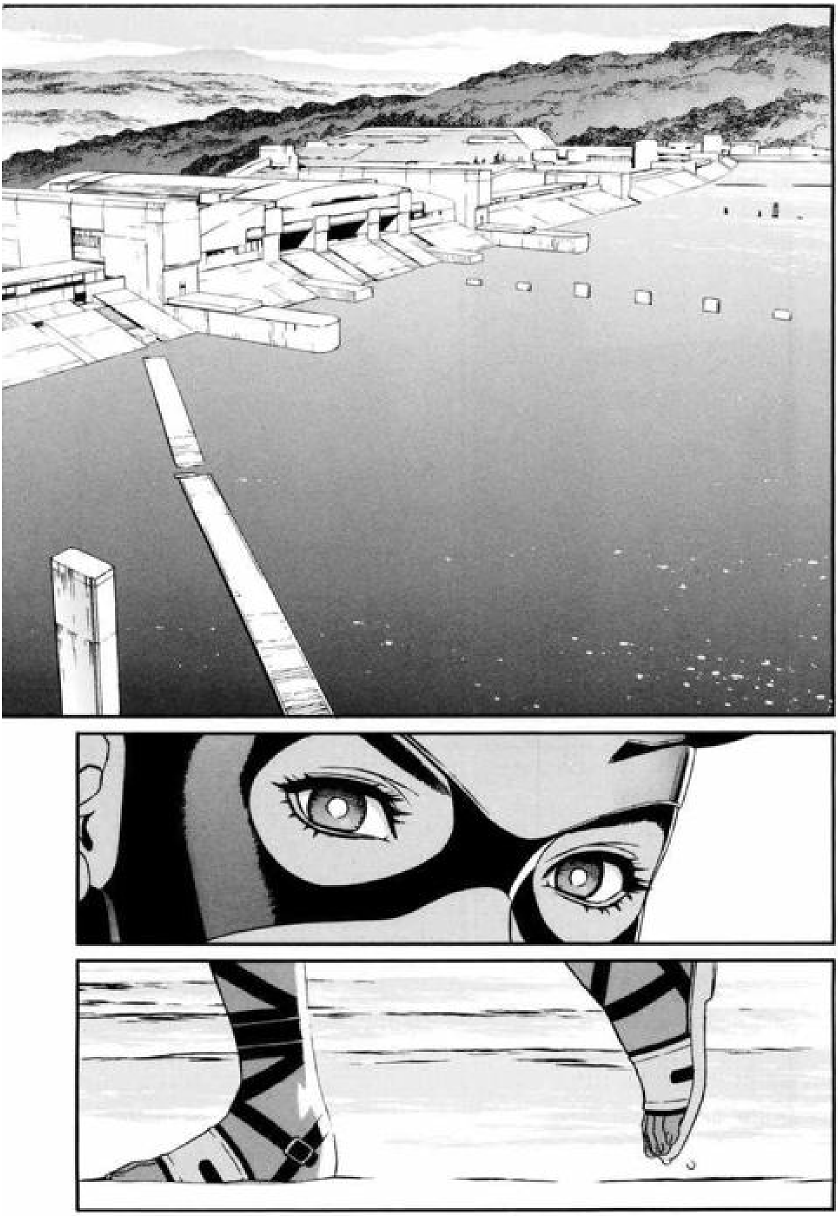

SOLEVISION
MITSUYOSHI
Dengeki Comics
Mitsuyoshi
2
隻眼獣ミツヨシ
2
上山徹郎
ISBN4-8402-2796-2
C0979 ¥950E
MediaWorks
SOLEVISION MITSUYOSHI
DENGEKI COMICS EX

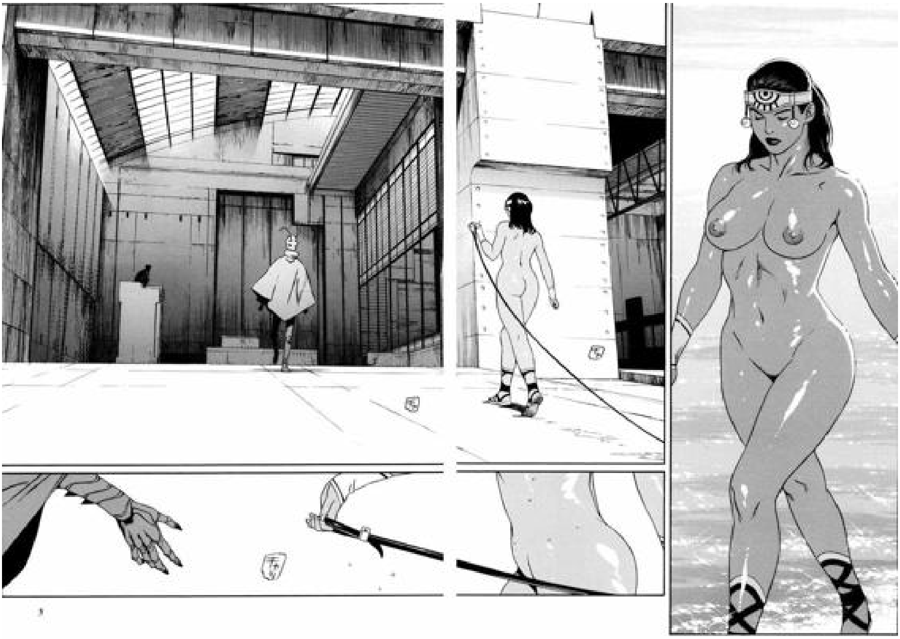

Dengeki Comics
隻眼獣ミツヨシ
2
上山徹郎
発行
メディア
ワークス


隻眼獣
Mitsuyoshi
2
上山徹郎

隻眼獣ミツヨシ❷目次

第11話 3頁
第12話 23頁
第13話 39頁
第14話 55頁
第15話 71頁
第16話 87頁
第17話 103頁
第18話 119頁
第19話 139頁
第20話 159頁
第21話 179頁





はぁあ〜あ
こらぁ望月！
……

ん？
「ん？」やない！何やねんそれ
うら若き乙女が超せつなげにため息ついてるのにその素通りっぷりは何やっちゅーねん
他に言うことあるやろ！ええ？
退屈そうだな殺助
そうっそれや！
あーあ退屈退屈
めっちゃ退屈や——っ!!
愛する幸斑さまが戦に倒れ
雌伏の眠りを過ごすことはや数百年
二十年だ
よ〜〜〜やく呼び起こされてやる気いっぱい駆けつけたのに
くる日もくる日も待機待機待機！
いつになったらうちの出番がくるね〜〜〜ん！

言ったろう
儀式の日程は決まったのだから出番はもうすぐだ
それは聞いてるけど~~~~
錆塊や尉扠も呼んでんねやろ?
それじゃうちの出番減ってまうやんか
そんなんつまらんわ~~~
バナナ
──というのを知っているか
え?
南蛮原産の珍しい果物でたいそう甘いらしい
最近江土城の料理長が大量に買いつけたという話でな
作戦のついでに味わってみてはどうだ?
へえ~~~
バナナかあバナナねえ
じゃあじゃあ
見つけたらうちが全部食ってもうてええの?
あとになって分けろゆうてももー手遅れやで
わかっている!
だから少しだけいい子で待っていろ
ゴリリリ
はいはーい♡
ほな約束やでー!
指きりっ!
びしっ

ばっ
ふふっ
まったく……赤ん坊より手のかかる奴だ
あれを飼いならしていたのだから
つくづく幸斑さまは得難い器だったな
チャ
チャ
チャ
さて

いい渋みだ…
家康に濠を埋めさせた甲斐があったな

ギュ
キャ

バキッ
ダッ
ガッ

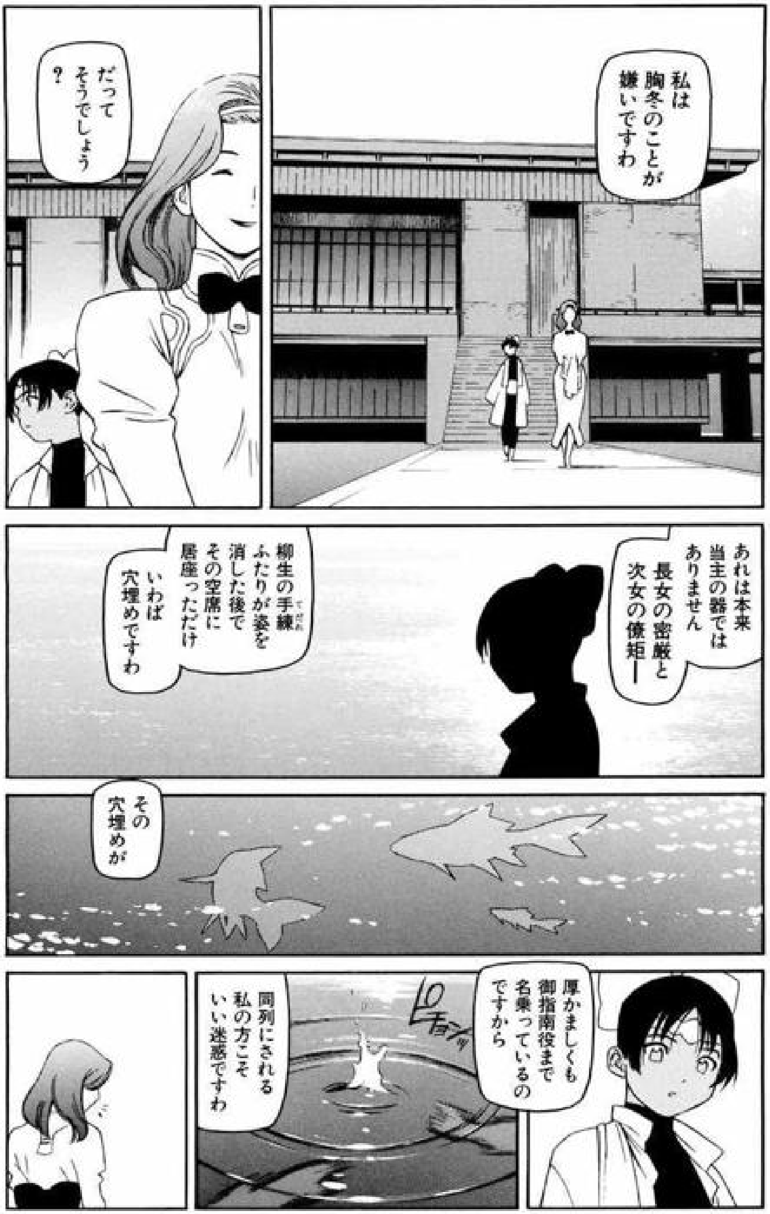
キュン
キュ
ドドーン

いたたた
すっ
すまぬ唯常 大丈夫か!?
覚えたての型で つい調子にのって…
よいのです!
ご自分をお責めにならないで
おやさしい嗣千代さま

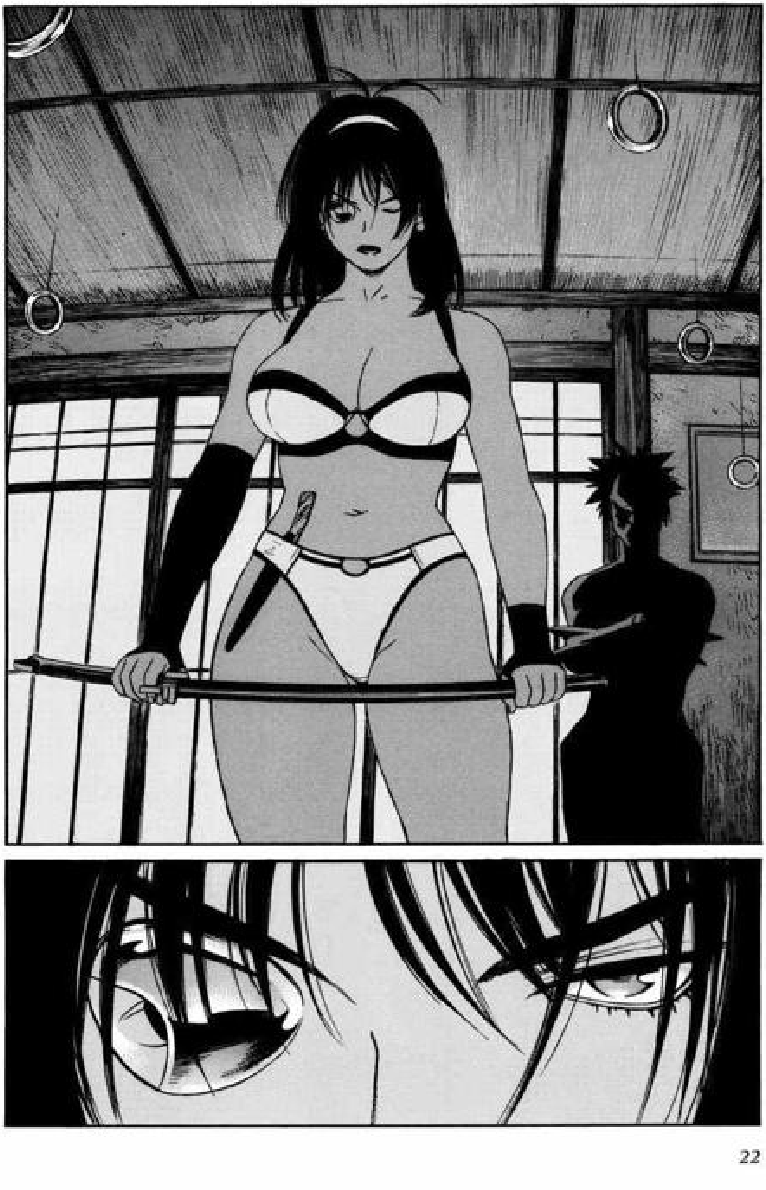
全ての責任はこの私！
師範でありながら嗣千代さまの技量を見誤った唯常にあります
ふふっ
それにしても……
これほどのご上達には本当に驚くばかり
儀の当日
城中の者が嗣千代さまに見惚れる様が目にうかびますわ
ははっ
唯常は
はい？
唯常はいつもわしをほめてばかりだ
この前の…
勝手に稽古を休んだ件でも咎めようとしなかった
唯常
どうして一度もわしを叱らないのだ？

よろしいですか祠千代さま
人には優劣というものがあるのです
優れた者の意思に劣った者が従う
それが正しく世を動かす仕組みというものですわ
そして
祠千代さまは誰よりも高貴な血筋と優れた才をおもちの方
すべてお心のままに行動なされば良いのです
誰に気兼ねする必要もなく
何か問題が起これば その時こそ私どもの出番
そのための臣下なのですから
…ああ ただし

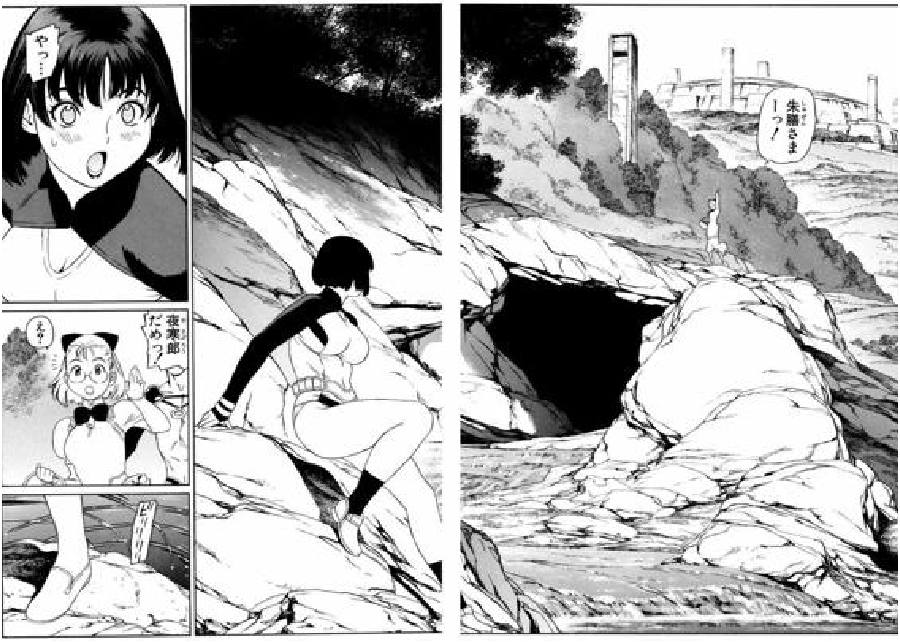
中には出来の悪い者もおりますのでご注意くださいね
たとえば——
やれ外出するな面倒かけるなと主君に対して注文をつけたがる不敬の輩が
本当 あんな身の程しらずが紛れこんでいるんですから
同じ臣下として恥ずかしい限りですわ
……
それはつまり…
胸冬のことですよ？
ええ その通り


私は胸冬のことが嫌いですわ
だってそうでしょう？
あれは本来当主の器ではありません　長女の密厳と次女の傣矩─
柳生の手練ふたりが姿を消した後でその空席に居座っただけ　いわば穴埋めですわ
その穴埋めが
厚かましくも御指南役まで名乗っているのですから
ピチョンッ
同列にされる私の方こそいい迷惑ですわ

祠千代さま？
仲良くしろ！



ザッ
ザッ
タッ
あっ



朱膳さまーっ!
やっ…
夜寒郎だめっ?
えっ?
ビリリリ

きゃ
ドドドドド

ドドドドド
夜寒郎!!
ごほごほっ
ごほっ
ジャ
ごほっ
ごほごほ

仔竜！
胸冬さま
ご安心ください大事ないようです
しかし
ごほっ
おほっけほっ
どうしてこんな所に……
ドドドッ
ザザッ
ガガッ
うかつだぞ仔竜
ここまで部外者の接近に気づかんとは…
すまん鳩竜俺としたことが…
夜寒郎！
何してるのこんな所で

てゆーか
朱膳さまこそ何をなさってるんですかー?
西の丸跡にいるって慈狼さまに伺ってきたんですけど…
なんか勿体つけて詳しいこと教えてくれないんですよー
んー…… そうね どこから話そうかしら
夜寒郎
御奉納の儀のことはわかる?
はいっ! はいはーい 知ってまーす
現在の幕府を創立された神君・家瘠公のご偉業を讃え
ずびしっ
歌とか踊りとかをご霊前に供える儀式でーす!
ふふっ よく勉強してるみたいね
ドン
びくっ

ドン
…つまり
万が一への備えよ
儀の当日は大勢の名士が江土城へ集まるわけだから
警備に関して手抜かりは許されない
万全を期するために私たちは古い水路を塞いでまわっているところなの
内緒の話よ?

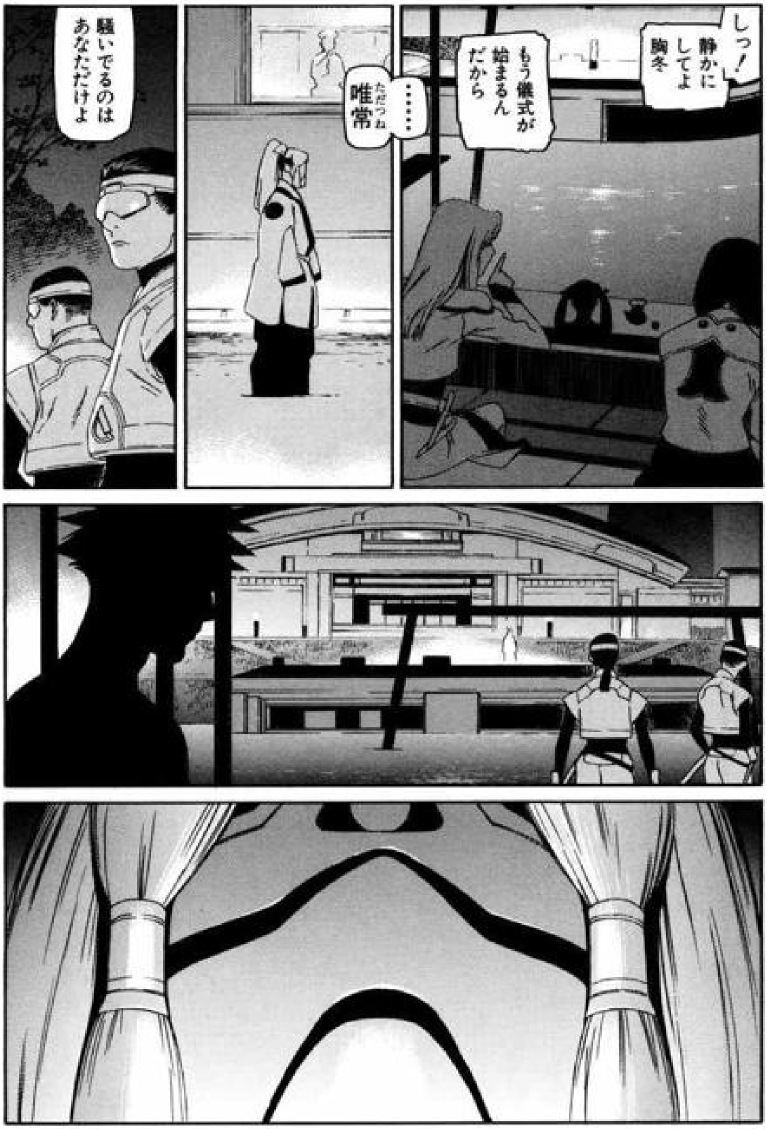
ドドン
彼らは「暗鬼」
もとは山間に住む狩人の一族なんだけど
祖父の代から私たち柳生家と契約して…
まあその
いろいろ働いてもらっているのよ
うわ〜〜〜
噂にはきいてましたけど…
本当にいたんですねすご〜〜〜い!
まあみんな知ってるんだけど
一応秘密ってことになってるから
あんまり人に話しちゃダメよ?

胸冬さま ここは完了です
ええ それじゃ夜寒郎
私たちはまだ仕事があるからあなたも戻りなさい
あっ はい 朱膳さま
危ないからもう来ちゃダメよ?
お弁当おいしかったわ ありがと
いえ そんな あの
えーと あの…
朱膳さまっ!
ん?
せいぜい頑張って穴埋めしてね〜〜〜
あなたにお似合いの仕事だわ〜 オホホ〜
ぷっ

もーっ！
誰の真似よ
それ！
うぷぷっ
わかってる
くせに～♡
チョロロロロロ…

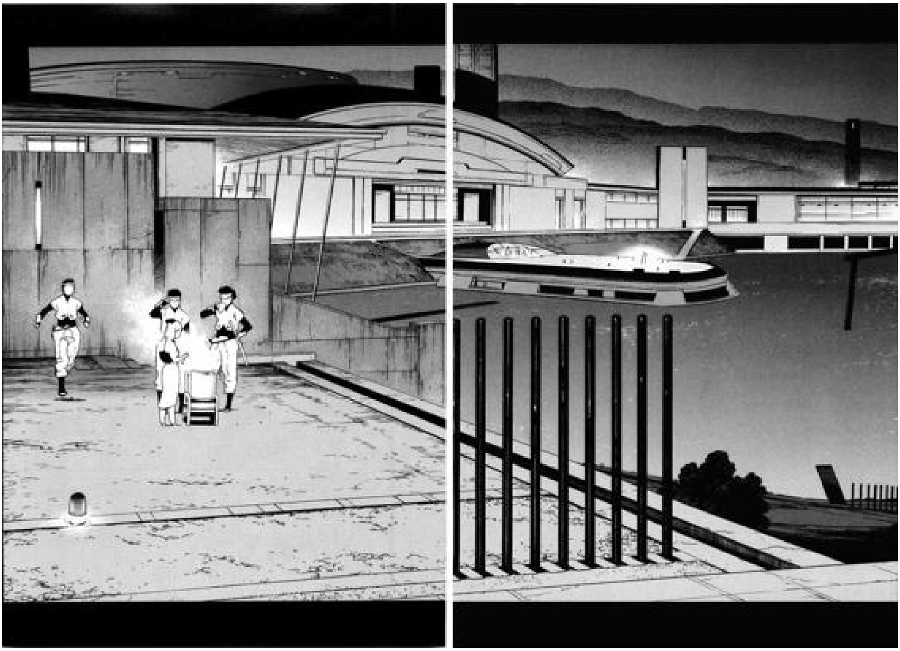
あら
見直したわ
ああ
仕事？…

聞いてるわよ
部下を連れて城のあちこちで古い水路を塞いで回ってたんですって?
ご苦労さまだこと
もっともそれって
要するに穴埋めでしょ?
穴埋めのあなたにお似合いの仕事かもねぇ
ほほほほほ
ぷっ
パッ


しっ！
静かにしてよ胸冬
もう儀式が始まるんだから
……
唯常（ただつね）
騒いでるのはあなただけよ

これより御奉納の儀を
とりおこないます

ポンッ
ポン
ポン
ポン
ポン
ポン
ポン
あッ



ッッつう〜〜〜い
…から気をつけてくださいね♡
ははは っ
やっ いただきますっ！
春といっても夜はまだまだ冷えますから
熱くて甘〜いおしるこでのりきっていきましょー！
いやいや助かりますほんとに
上の連中は何もしちゃくれないし
俺たちの味方は夜寒郎どのだけですよ
夜寒郎どのの婿になる男は幸せだよなあ
またまたお上手ー
早く早く！俺の分も！
ん？
えっ あれ？

釣れますか?
あ?

バカ
釣れるわけねえだろ
こんなドブ川で
では
汁粉でも飲んで一服なさってはいかがですか
兵に支給されていたものですが……
んじゃくれ
ふーっ！
アッアッだこりゃ
はい
私が懐で温めましたので
マジ!?
冗談です
いまひとつでしたか…
すみません
次はもっといいのを考えます
いやいまひとつつーか…
あんの!?
次が

ドギャン
きさまっ……

おやおや これは何と したこと
侵入者を 追いかけて いたつもりが
思わぬ人に でくわした ものだ
何が おやおやだ
この方が どなたか
わかって いるなら 名のれ 無礼者！
ふっ
工作暗鬼 仔竜（しりゅう）
お初に お目にかかる
…
もと お嬢さま

しかし困ったね お館さまの命で 城内を哨戒して いるところで
よもや そのご息女と 鉢合わせ しようとは
なにしろ 猫の子一匹 見逃すなとの ご命令だ
どうした ものか…
なんて な
?
密厳さまと 遭った場合は 無視しろと
これも お館さまの 命令でね
なに…
実はちょっと 顔を見に 寄っただけさ
豹牙
おまえと 駆け落ち したという お姫さまのな

たわけ！相も変わらぬその下種な物言い…
用がなければ消えろ目障りだ！
はははっ
おまえの方こそ相変わらずだな
昔からそうだ頑固で無相想…
その上
要領が悪い
よりにもよって勘当されたお嬢につきあって放浪生活とはね…
どうせ口説くなら跡取りの方にしておけよ
つくづく損得の勘定ができない奴だ
くだらぬことを…
忠義を果たすに勘定などが何の役に立つ！
忠義？それこそくだらんな
俺たちは所詮家畜と同じさ
餌をくれる者を主君と呼んで付き従うだけのこと
その点
暗鬼も武士もかわりはない

ふう―――
ま　確かに
おまえに
お似合いの
ご主人だよ
いつまでも
死んだ飼い主に
執着して
せいぜい
いもしない
仇を捜して
野垂れ死に
してろ
じゃあな
密巌さま
お手を
ん？
チャラ‥

非礼のお詫びです
少々ですが宿代の足しにでも…
ん——?
いいのか
あいつのだろ
これ
奴が言ったことです
家畜ならば金銭など無用のもの
どのみち……
食われる身分なのですから
汁粉はもう結構ですか?
そうだなー…
ってなに? もう一杯持ってきてんの?
いえ
容器の底をご覧ください
当たりが出たらもう一杯もらえます
えーっ
マジ!?
冗談です

上さま…
上さま！
うあ？
上さま起きてください
もうすぐ祠千代さまのお出番です！
お－…
あ－左様か うむうむ わかった
終わったら また起こしてくれ
ぐ－
はあ…

ギッ
さて…

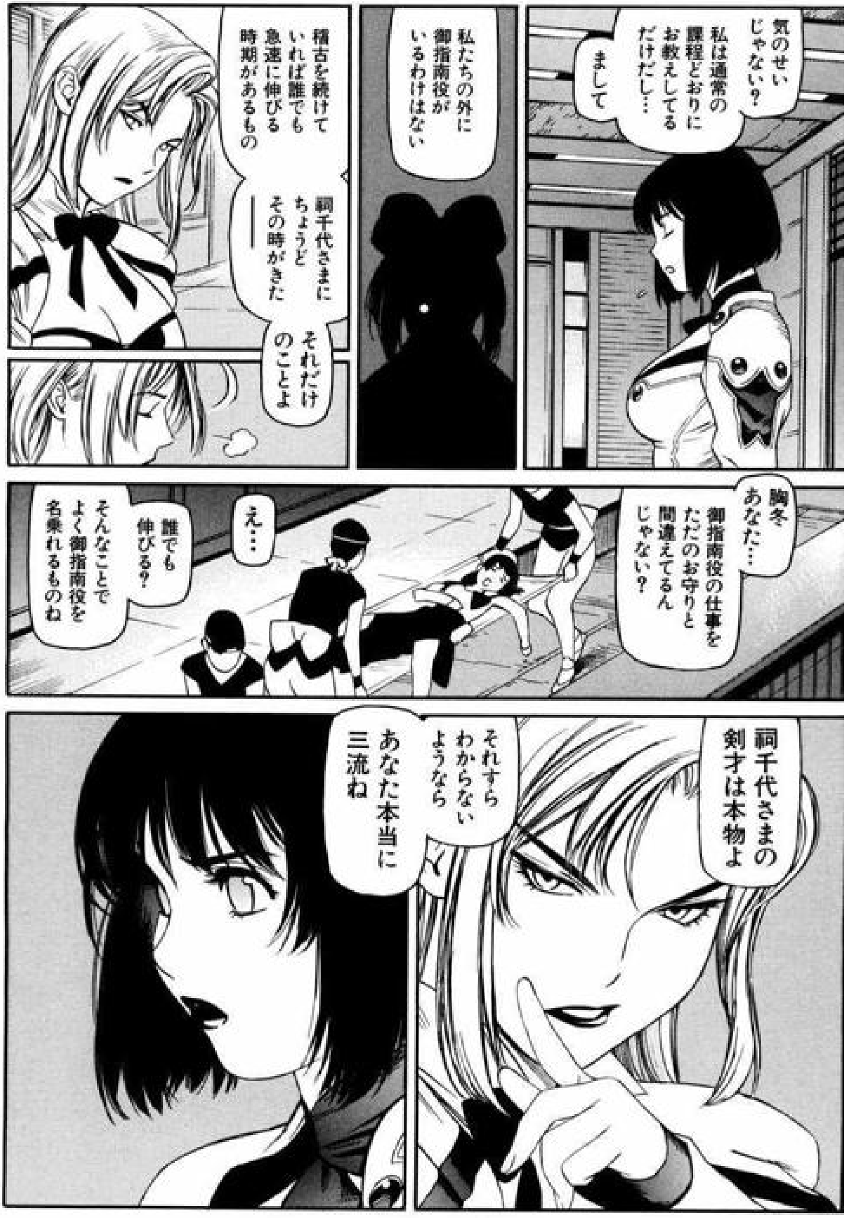
きたぜ
祭りの時間だ

チャリンッ
ははっ!
しかし儲くぜ ひと晩 仕事が延びるだけでこれだもんな
さすがに一万石の大名ともなると気前がいいつーか… 本家ってのはいつも こうなのかよ
なあ隼(しゃん)
霧がでてきたな…

きゅる〜〜〜ん♥
きゃい〜〜〜ん♥

え？
だから変わったと言ったのよ
いやーん すてきすてきすてきすぎー
んもー 桐千代さまってば どうしてそんなに美しいの～
……
何が？
ねぼけないでよ胸冬
あんっ
決まってるでしょ 桐千代さまの…
剣よ

そう
例えるなら
小川が集まり
大河を成す
ように
これまでは
多くの型を
覚えるだけに
留まっていた
ものが
徐々に
それらが繋がって
ひとつの流れを
生み出している
ような…
胴千代さまの剣に
確かな変化が
起き始めているわ
胸冬
あなた何か
秘伝でもお教え
したの？
それとも
私たち以外に
誰かの指導が
あったのか…


気のせいじゃない？
私は通常の課程どおりにお教えしてるだけだし…
まして
私たちの外に御指南役がいるわけはない
稽古を続けていれば誰でも急速に伸びる時期があるもの
祠千代さまにちょうどその時がきた――
それだけのことよ
胸冬あなた…
御指南役の仕事をただのお守りと間違えてるんじゃない？
え…
誰でも伸びる？
そんなことでよく御指南役を名乗れるものね
祠千代さまの剣才は本物よ
それすらわからないようなら
あなた本当に三流ね

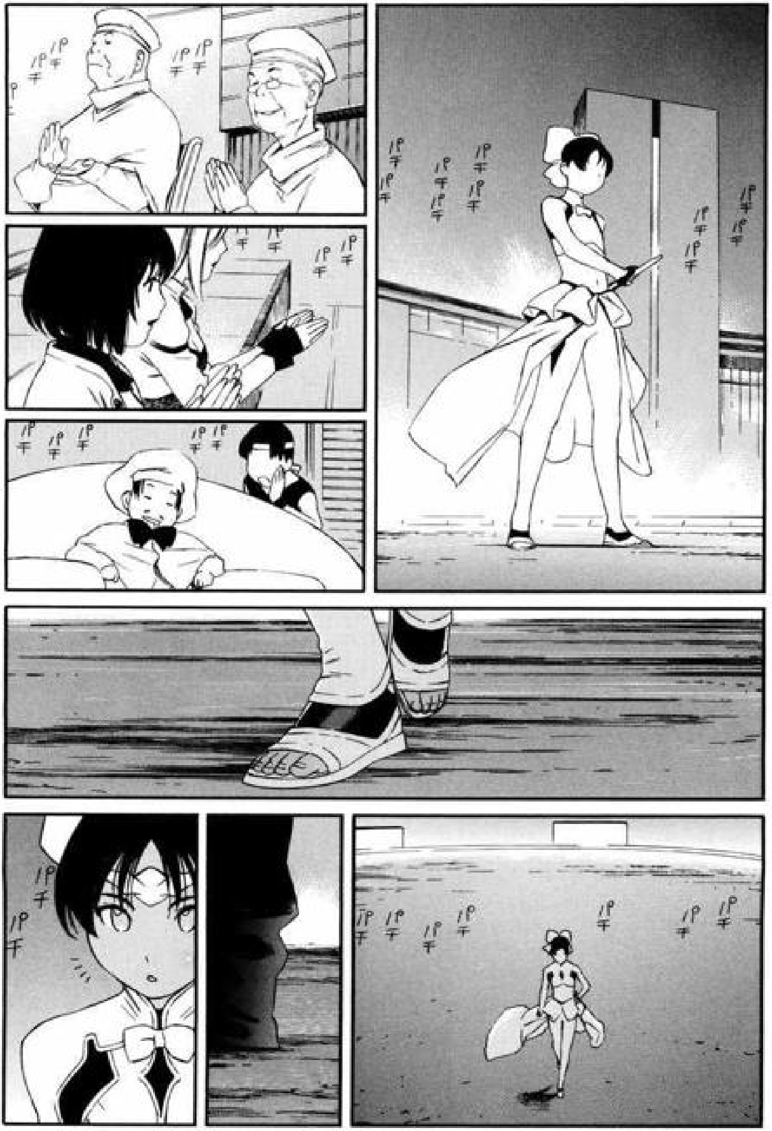
豹牙
はい
こいつはオトリだ…
奴らの狙いは嗣千代ひとりだからな
俺らが邪魔をしないように時間を稼ぐつもりだろうぜ
こいつの相手は俺がしとくからおまえは胸冬たちの加勢に行ってやれ

……
どうした 早く行けよ
申し訳 ありません でした
え？
あの日
嗣千代さまを お連れした ことです

戦場を……
本物の血をみれば
若君は恐れ戦き離れてゆく
大事な戦いを前にこれ以上密厳さまのお手が煩わされることもなくなるだろう
そう考えて私はあの時おふたりを引き合わせたのです
浅はかでした
私は本当に愚かです
隼の口車にうまうまとのせられ…
またしても出過ぎた真似をしてしまった
密厳さま

嗣千代さまのもとへ行くべきです
このような闇夜は
あなたが戦うべき場ではない！
つまらぬ殺し合いは私に任せ
あなたはご本心の望む戦いを…
それが！
出過ぎてるってんだよ
おまえ…
…
どうなるかわかってんのか
明日の朝には

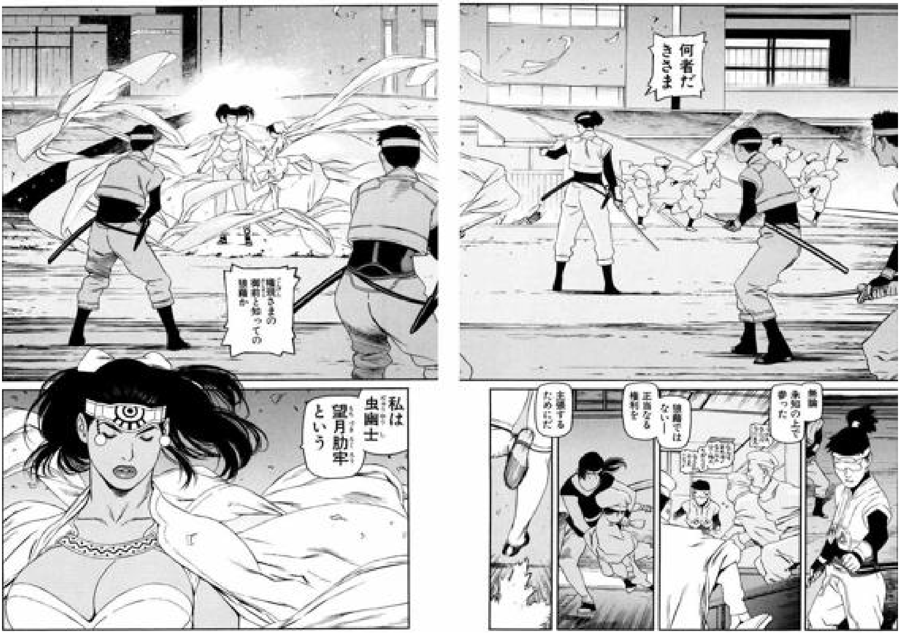
あいつは生きてて
俺は死んでる
近寄れるもんじゃねえだろ


パチパチパチ
パチパチ
パチパチパチパチ
パチパチ
パチパチパチパチ
パチパチパチ
パチパチ
パチパチ
パチパチパチパチ
パチパチパチ

おまえっ……!?
ばっ
!?

わっ
うわあっ!?

カンッ


何者だ きさま
無論 承知の上で 参った
狼藉ではない―
正当なる権利を
主張するためにだ
私は 虫幽士 望月助牢 という

ぢゅう
…!?
何だか知らんが
―話は嗣千代さまを放してからだ
若君を盾にするなど卑劣な…
早合点をするな
盾になどするものか
我らが欲しいのは…
若君は
若君そのものなのだ!
!

我ら
虫を飼う者どもの
王となるべきお方
将軍家と
いえども…
譲れぬ
お世継ぎの
おられぬ不幸
察しはするが
家痔公の
御霊前で
あえて
言い通す
若君に嫡流を託す
正当なる権利は
我らにこそあると
…
きっ

斬れ!!
わっ
うわっ!?

ドドオ
ぐへッ!!
ド
忍法 葬帷子(はふりかたびら)
……くそっ
トッ
!?
ドカッ

銅千代さま!!

ドド
パァッ
トッ
ぷっ
ザバッ
ぷはっ

虫幽士がひとり三好尉扠
同じく三好錆塊
お会いできて光栄だ
柳生と小野の御当主よ

そんなに
俺の首がほしいか?
チャキン
いいぜ
獲ってみろ!

ドッ

ドゥパ
ザァ
ザ
ザップ
律儀な奴だな
あくまで首狙いか…
別にいいんだぜ他のとこ狙っても
意地ならやめとけ
そんなもん突っ張っても

ロクなこと
ねえぞ
!

すっ
グイッ
ふっ

ばっ

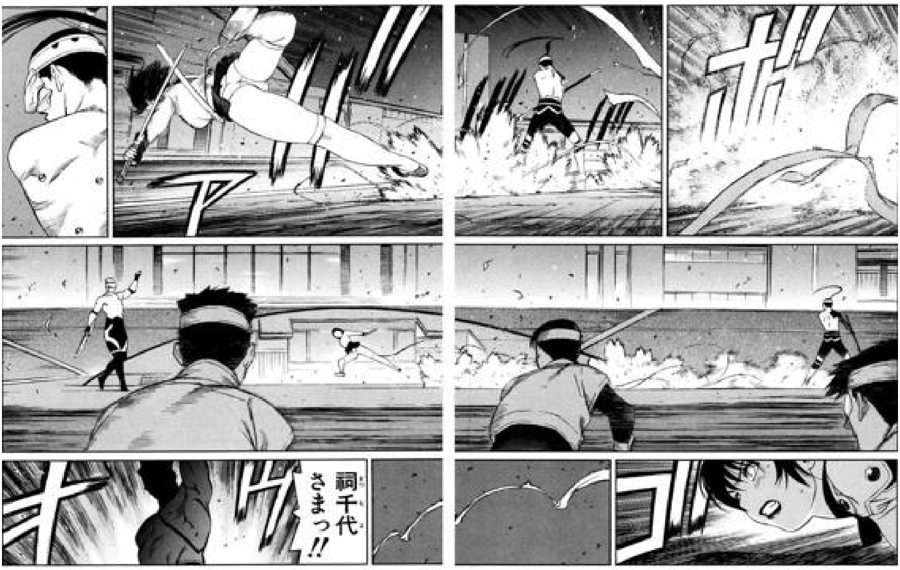
あー……
ちょっと期待外れだな
誘っといて悪いんだけど
俺の首ひとつ落とせない程度じゃ…
もういいわ
おまえさ
この辺で死ね

てめえ……
チャキン
トプンッ
くそったれ……！

はあっ
はあっ
はあっ
はあっ
はあっ
お急ぎください！
出口はすぐです
はあっ
はあっ
まったく
…
なんてザマだ！
やすやすと曲者を通しおって
大金をかけて警備を増やした結果がこれか
きさま所属を言え！
この責任はしっかり追求して…
お話はっ
避難がすんでから伺います
今は御身の安全が……
うわっ
!?

水!? どっ
どうして こんな所 まで…
ほう…
さすがだな 柳生朱鷺

あの刹那に小柄を打っていたか
平和に浸った江土にもまだ剣士はいたようだな…
面白い
あまりすんなりと事が運ぶのもつまらぬと思っていた
丁度いい合図だ
あの帯が切れた時──
始めよう


祠千代さまっ!!

!!
ぐはっ
しゅっ

朱膳さま！
近づきすぎたな
くっ…
!?
衣・織物その一切を自在に操る望月肋牢の
忍法葬帷子（はぶりかたびら）その影響だ
場数が足りんな柳生朱膳

?
遅蒔きながら加勢いたします
こうなれば
我らが盾となり反撃の機を作りましょう
その隙に
はは…

やめなさい!!
やっ

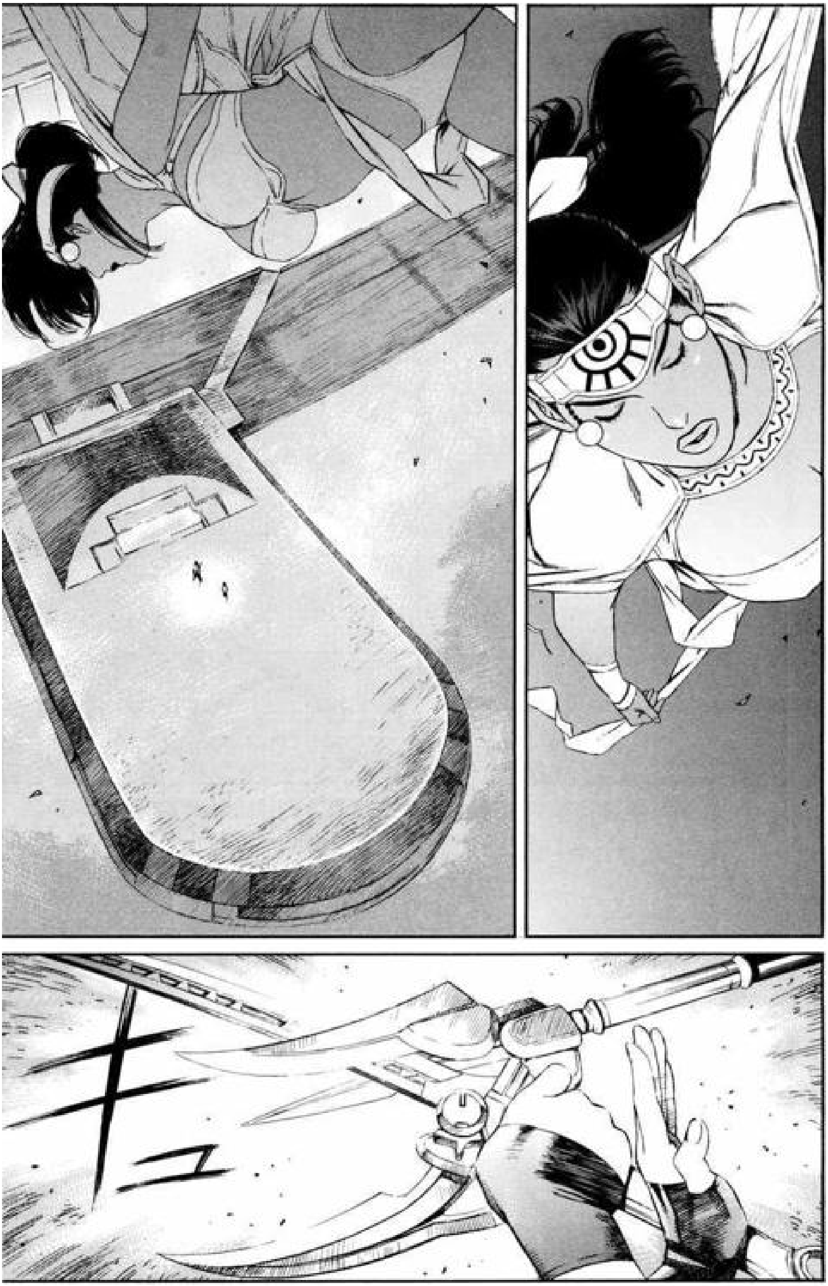
!!
うがっ…

ごほっ
ぐほっ しゅっ
朱膳さま 何を…!?
…!
しゅ…

さがって
いなさい！
おいおい
尉扠…

いつまで遊んでるつもりだ？
あいかわらず熱くなると周りのことを忘れる奴だ
大概にせんと
もう時間がなくなるぞ…
シュルルッ
!!
おおっ…と…

これは失礼…
俺の相手はあなただった
では一手ご教授願おうか
小野慈狼右衛門


キュ

ヒュ
秘剣

雁木車!!

チュイーン

!!
ぐはっ…

驚いたぞ 柳生朱膳
この俺に一撃を喰わせるとはな…
その若さで大した修練だ
しかしおまえの剣には
混ぜものが多すぎる

士道のつもりか？
戦の場で敵から目を逸らし
他人を気遣い
そして何より
命を惜しむ
だから軽い
捨てろ！
俺を殺したくば
その手にまといつくもの全てを切り捨てて挑んでこい
おまえが真に心陰流宗家であるならば
その術を知っているはずだ…

獣になれ！柳生朱膳！

そうだ!!
燃えるがいい
ひと振りの刃のように
その身を炎にさらし濁りを叩き出せ!
迷いも恐れも
明日への望みも!
そして見せてみろ
おまえの『隻眼』を!!

キュカッ
!
ばっ
やめろ胸冬！
む…？
父上！

うぬらは…？
!?
ふん
山犬どもか

工作暗鬼 仔竜！
同じく 鴆亀
若君を 返して もらう

おまえたち…
柳生の手先か
いったいどういうつもり!?
勝手に割って入るなどと出すぎた真似を…
お言葉ですが
ただ今は若君の保護が最優先と存じます
わきまえてください慈狼さま
わっ
私に指図するかっ!
うぬらがわきまえろ
なに?
これは武人同士の戦い
うぬらごときが割りこんで良いものではないと言っているのだ

何が武人だ賊めが！
自分が既に捕縛されていることもわからんか
ふう…
やれやれだ 捕縛だと？
うぬらのその愚昧憐れみすら感じるぞ
山犬は山にあってこそ
シャキッ
とりあうな
人に飼われしつけられ
未だ己れに牙があると信じこんでいるとは滑稽の極みよ
いや…
うぬらはもはや山犬でもないな
家畜よ！
ア
ゲ・

ぬん
くっ
ブチン

ふうまっ
鳩亀!!

だめだ
胸冬
おまえは
隻眼を
開いては
ならん!!
なっ…

なぜです父上！この期に及んで…
子供の頃のように
未だ私の技量をお疑いなのですか！
伝承を鵜呑みにするな胸冬！
真実を射抜く瞳などと…
隼眼はそんな立派なものではない！
戦の時代は終わった
今更おまえが余計な重荷を背負ってはならん
ギリギリ

望月か
時間切れだ 尉扠
一旦そこを離脱しろ
ちっ…
まだ俺の用は終わっていない
少し時間をずらせ!
無理を言うな
穴山がそんな融通のきく性分だと思うのか?
…くそっ

ドッ
!

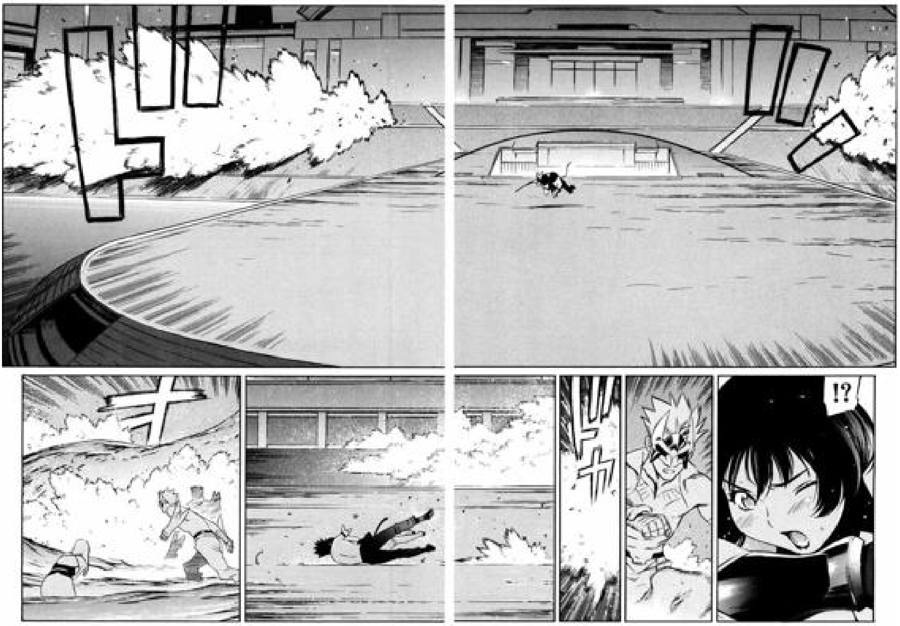
この…
老いぼれがっ!!
ドッ

ド
ガ
ガ
ガ
ゴッ
ちっ

父上！

水を差されたな
残念だが…
時間切れだそうだ
不本意だが虫が決めたことなのでな……
仕方がない
勝負はおあずけだ

!?
ちょっ…
ちょっと待ちなさい 今更どういうつもり!?
だから仕切り直しだ
決着は後でつけるとしよう 互いに…
命があればな
ザッ
くっ…
ドポォン
何がおあずけよ
どこまで勝手なことを…



ドドドド
ア
うわあああっ
ア
ッッッ
ア

ド
ドォ

僚矩（とものり）！

やめろ
もう充分だ！
叱ればいいってもんじゃないだろう
だいたい…
胸冬はまだ子供なんだ
ごほっ

ご無事ですか
唯常さま
こほっ
おほ
こほっ
くっ…
くそっ!!
くそっ
くそっ
賊め!
ガッ
ガッ
ゴッ
あんな
奸物の
せいで
どうして私が
こんな目に…

どうだ 城の 様子は
ひどい もんだ
あの大水で お偉方も何人か 流されたとかで
上を下への 大騒ぎさ
賊は？
あのデカい奴は 二の丸の方に 流されたらしい
若君も 一緒にな
大久保勢が どうにか兵を かき集めて 追いかけてる ようだが…
どうなる ことやら
唯常 さま
おききの 通りです
我らがお供 しますので 若君の救出に 行きましょう
うっ うるさい
いちいち 指図するなと 言ってるんだ だいたい…
おまえ達の 主人は 胸冬だろう
あっちは 放っといて いいのか！

綱千代さまのことなら心配するな
派手に見えても
悔しくないのですか
なに!?

無事か
悔しくないのかと言っているのです
二人も…!
こんな有様で
何が戦国最強の流派ですか!

胸冬
仕方がないのだ
時代は変わった…
戦乱の頃と同じようには生きられん
そうでしょうね なにしろ…
鍛錬の証たる隻眼を自ら捨てねばならないほどですから
私が知らないとお思いでしたか?
見えすぎる目は政治には邪魔だと…
父上はご自分で隻眼をふさいでしまわれた

隻眼さえ…
隻眼さえあれば賊ごときに後れをとることなどなかった
武門の本分を忘れ
出世争いに現を抜かした結果がこのザマです
胸冬さま！
ギリギリギリ
お言葉が過ぎます

密厳さまからの連絡です
二の丸の敵は囮…
嗣千代さまを連れた賊は北の御宝塔へ向かっているとのことです
!
姉上!
姉上は…
今どちらに!?

おい!
む?
「む」じゃねえだろ 何だよ でくわすなり…
ボ～ッと 石みたいに 固まりやがって
お見合いじゃ あるまいし 何やってんだ おまえ
いや…
ただ 見惚れて いた
おまえの 美しい姿に

んがーっ からかうな こら！
しょっぱなに 切り出すのが それかよ
てゆーかマジで 何しに来てんだ おまえ
その歩法 その眼光…
極上だ
どれを とっても 格が違う
まさに！
鍛えぬかれた 戦士の姿よ
おまえが 柳生柔兵衛(やぎゅうじゅうべえ) だな

見合いではないと言ったが…そう外れてもいない
今の俺はまるで運命の恋人と巡り合った気分だ
おまえは違うのか?
柳生柔兵衛
イカレ野郎が…

ねぼけてん じゃねぇ
おまえなんぞに 一目惚れされて だれが 喜ぶってんだ
ならば 言い方を 変えようか
積年の 想い人に…
再会できた 気分だとな
わかってん のか
俺は おまえらを
ブッ殺しに 来てんだぞ
追ってきた のだろう
すべてを 捨てて
おまえらが 殺した
蝶丸と 鳥千代を
救い出して やった
ぬるま湯 のような 日常から

そうだ
俺たちが
与えた
おまえに
命を捨てる
理由を!!

古今あらゆる戦士にとって
己の命ほど邪魔なものはない
保身にとらわれてはその力を存分にふるうことはできぬからな
おまえも知っていよう生の執着から逃れるために武士どもがひねり出した文言の数々を
主君のため
家名のため
信義のため
涙ぐましいことよ！

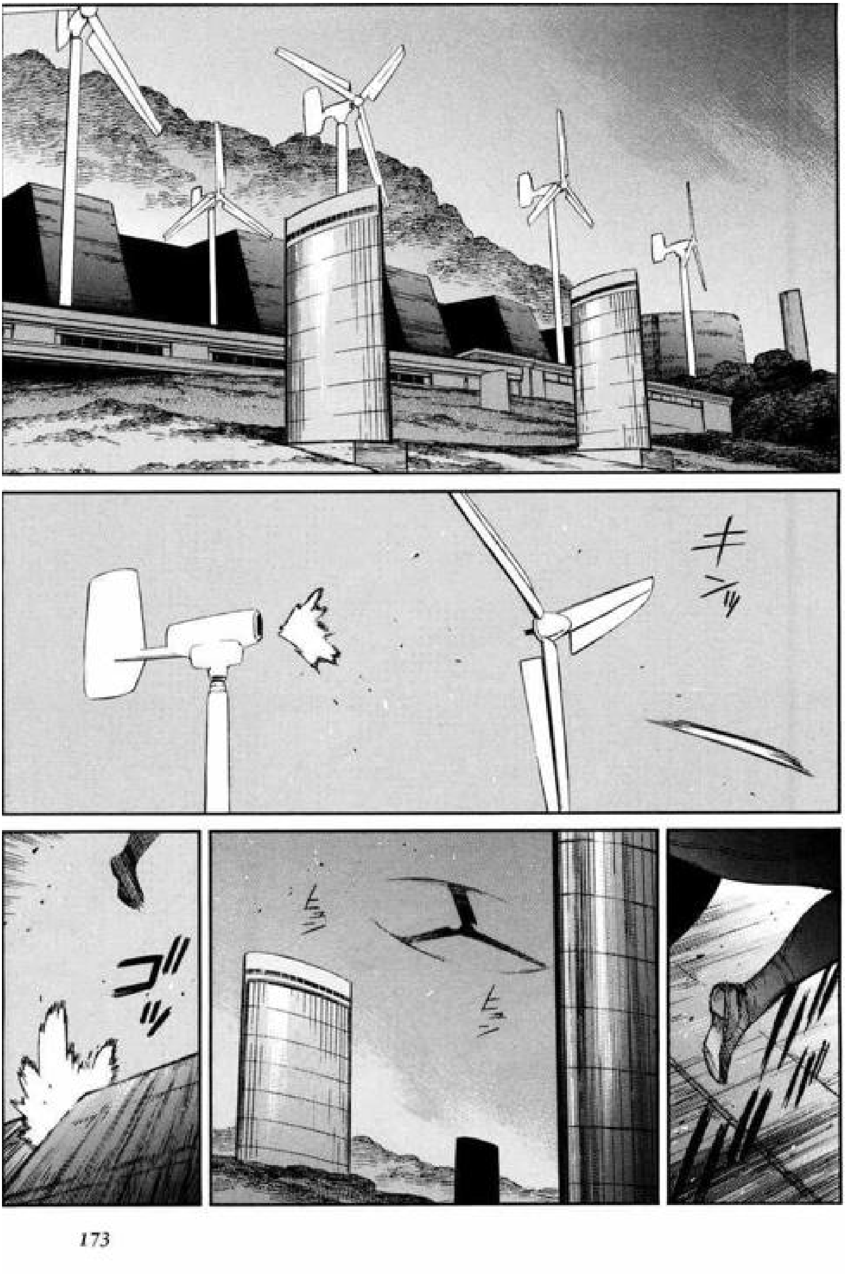
知った話か

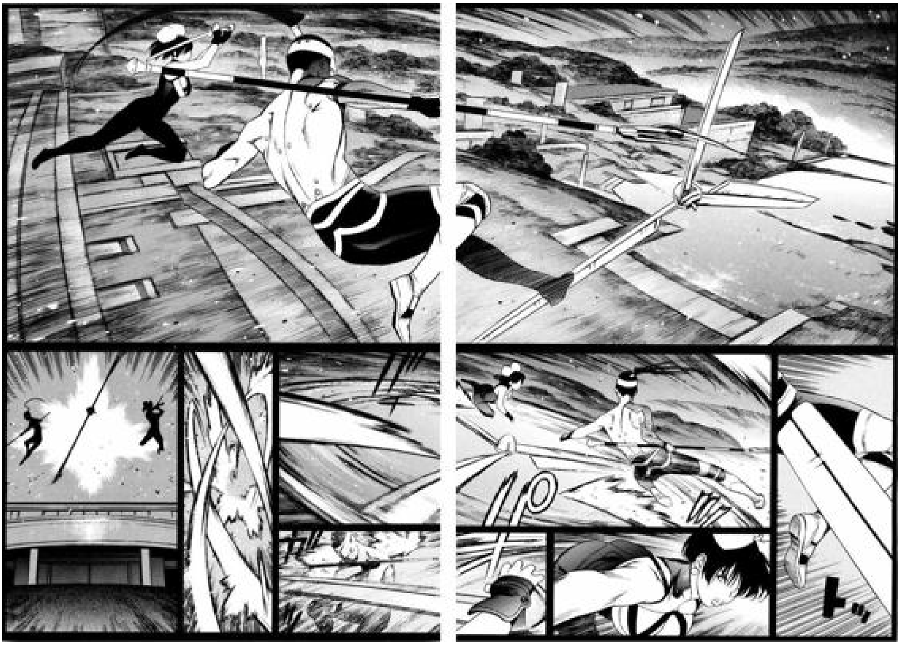
とっくに武士なんかじゃねえ…
俺は
死人だ
そうだ俺たちは軟弱な武士どもとは違う
小綺麗な言葉で飾らずとも…
死ぬことのできる真の戦士だ
奴も同じだった
三年前に戦った…

おまえの妹――
柳生業部もな

おまえか

朱膳さま
ご無事でしたか！
賊は二の丸だそうです
慈狼さまも向かっておられます朱膳さまも合流を！
それは囮よ
は？
鋼千代さまは御宝塔付近におられるわ
え…しかし
私は救出に向かいますあなた達もついてきなさい
えーと…どうなってんだ？
なあ周りの大きい奴って……
あれがいわゆる暗鬼ってやつ？
すっげえ初めて見た！

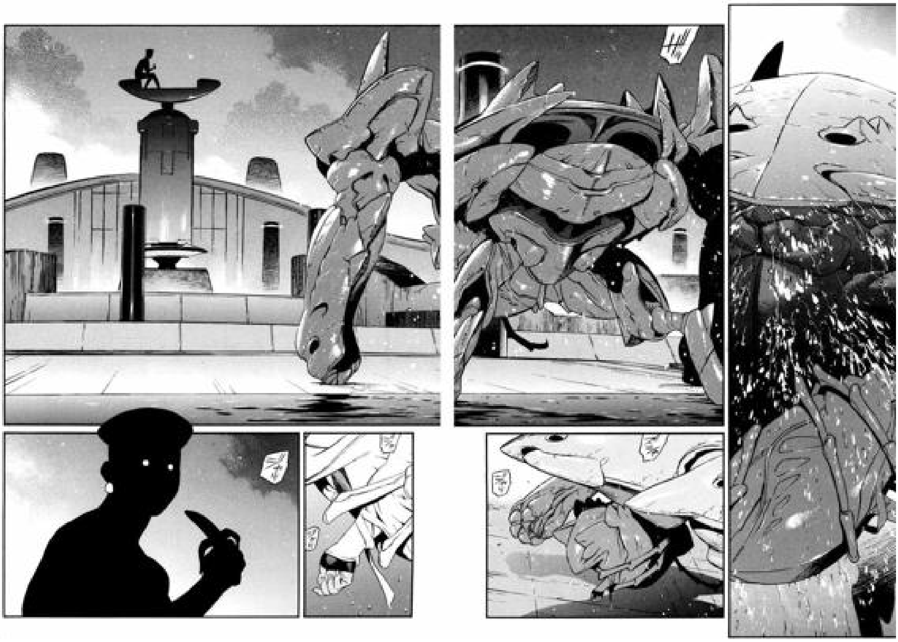

キンッ
ヒュン
ヒュン
ゴッ



聞け
柔兵衛

今から奥の手を使う
俺は筋肉や神経の組織を変成させ動作速度を大幅にひきあげることができる
常人の目には捉えられぬそれはまさに神速の領域よ
追従できるのは唯一——
隻眼の使い手のみ！
三年前
柳生嶪部とは相討ちに終わった技だが…
柔兵衛

おまえは
どうかな!?
ゆくぞっ
忍法
伊賦夜坂



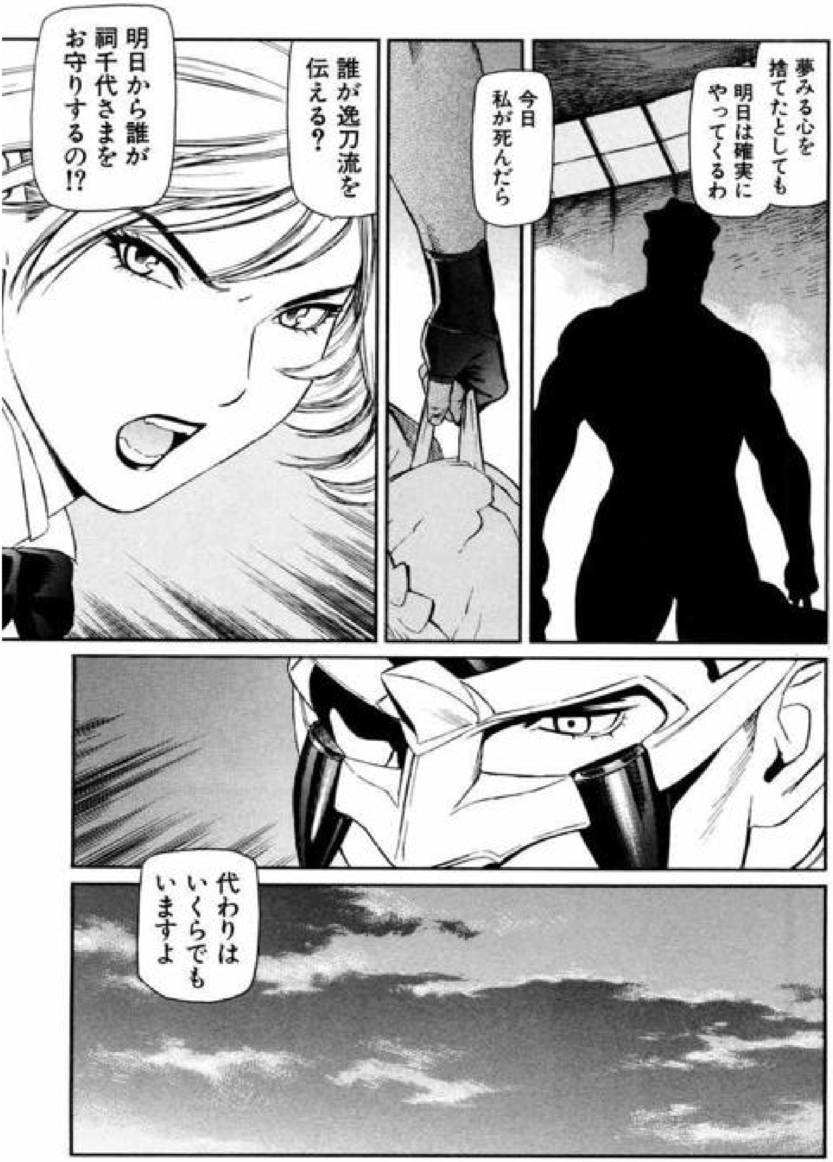
隼
ヒョォォォ
…だったかしら
はい
訊きたいんだけど
あなたたち暗鬼っていつもこんな調子なの？
……
こんな調子とは
何がですか？

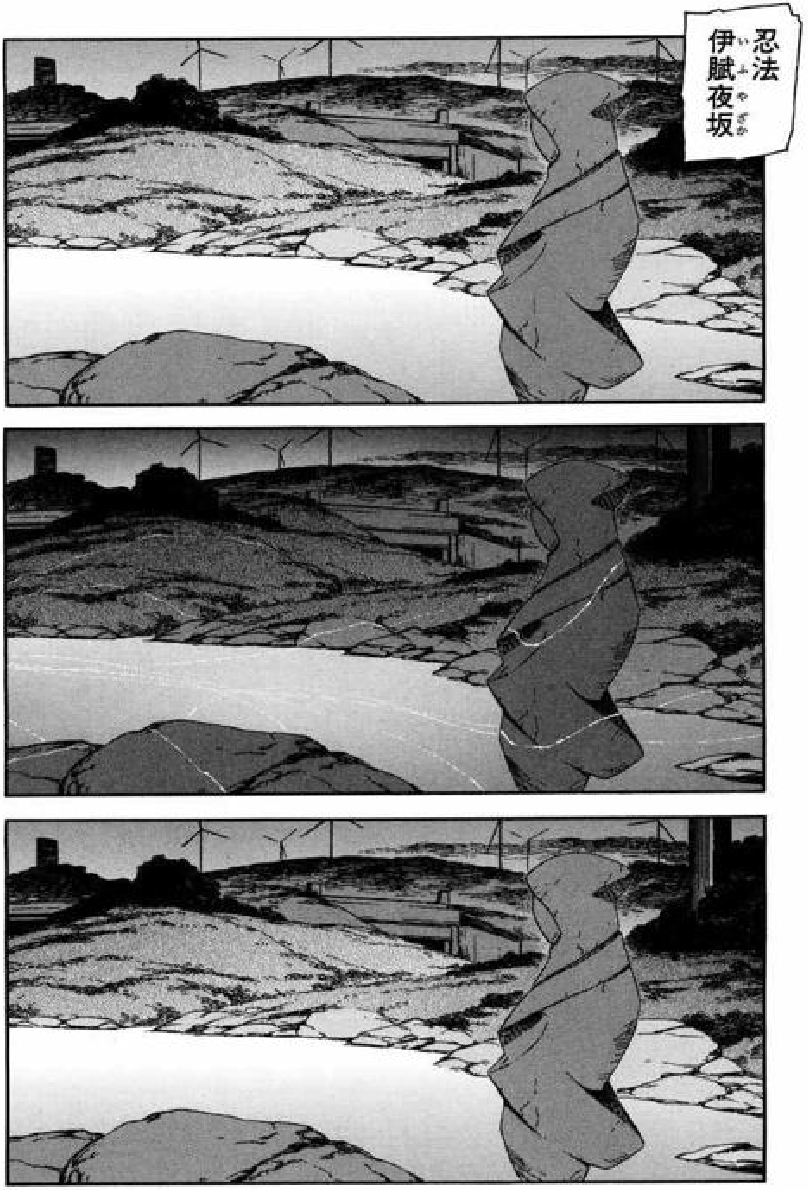
さっきのことよ
目の前で仲間が死んだっていうのに
あんまり落ち着きすぎじゃないの!?
あー…それはまあ

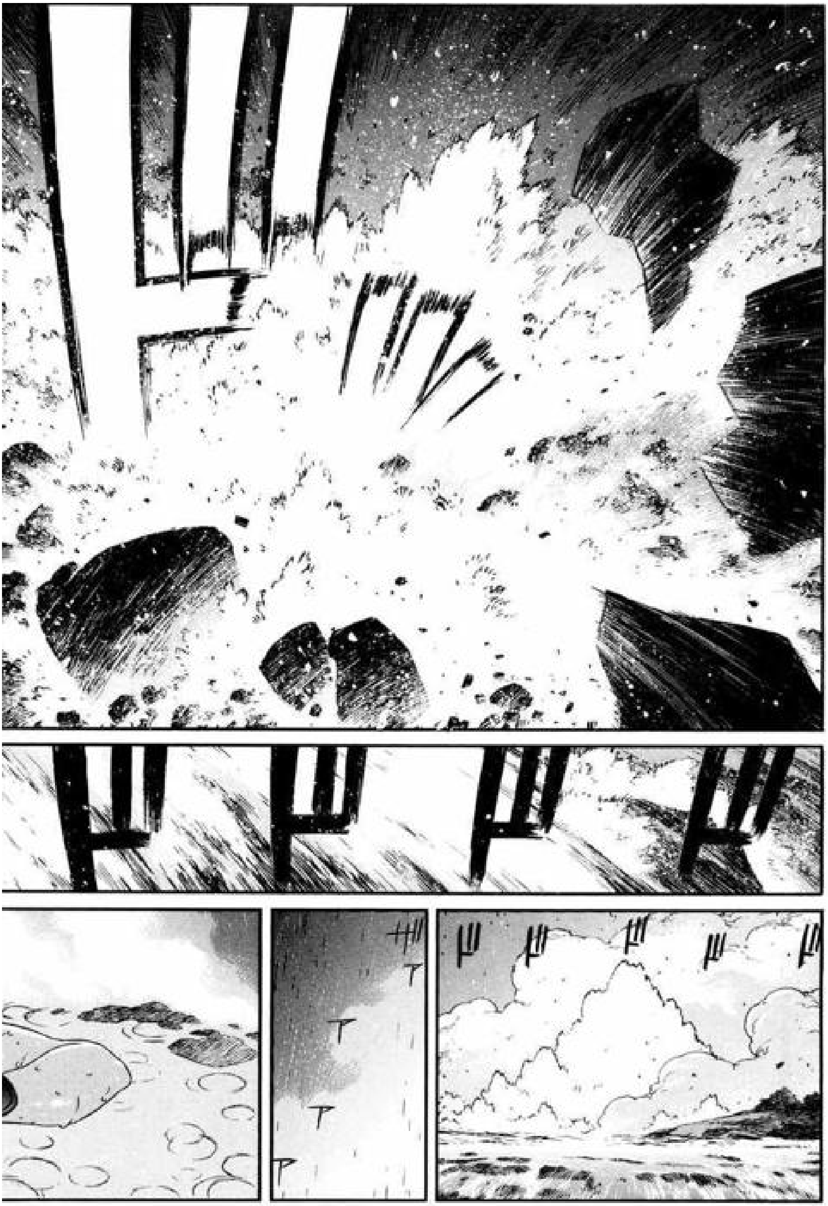
我々の仕事ですから
いや 暗鬼に限ったことではなく
己の命より任務を優先する覚悟こそ戦士たる者が須く備えるべきものと心得ております
それは唯常さまも同じではありませんか？
私はちがうわ
学んだ剣も描いた理想も
死んだら消え去る
命を捨てて何かを成し遂げられるなどとは思わないわね
第一――
死ぬのは嫌だもの

しかし
戦場とは
言葉の代わりに
刃を交じえ
金銭の代わりに
生と死をもって
決済を行う
取り引きの場
この場に
あっては
死を
恐れ
明日を夢みる
心性こそが

敗北を招く
最大の元凶と
なります
ならば
明日は!?


夢みる心を捨てたとしても
明日は確実にやってくるわ
今日私が死んだら
誰が逸刀流を伝える?
明日から誰が祠千代さまをお守りするの!?
代わりはいくらでもいますよ


忍法 伊賦夜坂(いふやざか)


ドドドド
ドドドドド

ザァ
ァ
ァ
ァ
ァ
ァ

何だよ
奥の手とか何とか
大層な前口上の割には…
ずいぶんとふらついた神速じゃねえかよ
くっ…
これならさっきまでの方がまだマシだったぜ
それとも何か?
腹の具合でも悪くしたか

あの時か!!
…くっ…
確かにっ
とんだ醜態をさらしてしまったな
隻眼の剣士とまみえることだけを望みに黄泉がえったというのに…
無様よ

気の毒に時間を無駄にさせちまって胸が痛むぜ
ははっ
そう思うなら今度はおまえから逢いにきてくれるか
バカ野郎
次はもちっとマシな女みつけろよ
照れるな

ここはっ……!?
お目覚め? 若君
!!
なっ 何者だ!?
はい はーい♥
よくぞ訊いてくれはりました ほな改めて…

初めまして
猿飛殺助（さるとびさすけ）いいます

以後よろしゅう

ついに現れた真田虫幽士最凶の剣士『猿飛殺助』!
ミツヨシの「隻眼」と殺助の「不死身」
異形の力が激突する。
3巻をお楽しみに!!

Dengeki Comics

隻眼獣ミツヨシ②

2004年6月25日　初版発行

著者	上山徹郎
発行者	佐藤辰男
発行所	株式会社メディアワークス　〒101-8305　東京都千代田区神田駿河台1-8　東京YWCA会館 電話03-5281-5215(編集)
発売元	株式会社角川書店　〒102-8177　東京都千代田区富士見2-13-3 電話03-3238-8605(営業)
装丁	亀口和明
印刷・製本	図書印刷株式会社

©TETSURO UEYAMA

Ⓡ本書の全部または一部を無断で複写(コピー)することは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。本書からの複写を希望される場合は、日本複写権センター(03-3401-2382)にご連絡ください。

Printed in Japan

落丁・乱丁本はお取り替えいたします。

初出／コミック電撃大王 2003年6月号〜2004年4月号(メディアワークス刊)

ISBN4-8402-2794-2 C0979